目次

令和3年第3回定例会【9月】

提出議案・補正予算……2~3

令和2年度決算・全員協議会…4~5

■一般質問………6~9

■議会トピックス

議会活動報告 …………10

議会改革特別委員会だより ………11

■議会だよりギャラリー …… 12





告 報

- ・ 専決処分 (損害賠償の額の決定及び和解について)
- ・令和2年度下郷町健全化判断比率等について

条例改正

- ・下郷町手数料徴収条例の一部を改正する条例の設定
- 下郷町過疎対策基金設置条例の一部を改正する 条例の設定
- ・下郷町税特別措置条例の一部を改正する条例の設定

議 決

- 下郷町過疎地域持続的発展計画の策定
- ・南会津地方土地開発公社の解散

議員提出議案

- 豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書の提出
- ・コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税 財源の充実を求める意見書の提出
- ・トリチウム等を含む ALPS処理水の海洋放出 方針の再検討を求める意見書の提出
- ・下郷町議会基本条例の設定 →詳細は 11 ページ参照

認 定 (4~5ページ)

・ 令和2年度下郷町一般会計及び 特別会計歳入歳出決算

契 約

橋梁補修工事(湯野上橋)請負契約

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦(2名)

補正予算(3ページ)

- 令和3年度下郷町一般会計補正予算
- 令和3年度下郷町国民健康保険 特別会計補正予算
- 令和3年度下郷町後期高齢者医 療特別会計補正予算
- 令和3年度下郷町介護保険特別 会計補正予算
- 令和3年度下郷町簡易水道事業 特別会計補正予算

新 任 再 任 室井 権擁護委員に 原氏 村氏

提出することを議決した。 内閣総理大臣などに意見書を >意見書提出の議決 ▽審査結果

採択

下郷町大字栄富 栗城 要作 字南原甲685番地1 氏

▽陳情者

針の再検討を求める意見 PS処理水の海洋放出方 書提出の陳情 トリチウム等を含むA-

請願・陳情

<mark>令和3年度</mark> 一般会計補正予算

4億6,721万円を追加し 54億1,710万円尼

般会計予算(9月補正) の主なもの

固定資産税	△1,081万円		
地方交付税	2億7,651万円		
財政調整基金繰入金	△1億3,710万円		
繰越金	1億5,526万円		
臨時財政対策債	1,309万円		
過疎対策事業債	1億6,980万円		

▼歳出

▼版料	
地域おこし協力隊募集広告料	55万円
国庫支出金等償還金	946万円
財政調整基金積立金	1億円
教育施設整備基金積立金	5,000万円
過疎対策基金積立金	3,500万円
橋梁整備基金積立金	1億円

◎文化財整備費

議員 峠の茶屋は雪害を受け ていると聞くが今後計

画はあるのか。

文化庁と協議中であり、来年 で補強している状態である。 課長 雪害により茅屋根が全 て落ち、ブルーシート

◎町道維持工事費

1千万円と高額である

の当初予算に計上したい。

が何か所もあるのか。 護柵が老朽化している。 大内小屋前線の木製防

課長

撤去しその後ガードパイプの

◎下郷町公共施設等総合 他に1件、計2件となる。

管理計画改定業務委託料 どのような業者に業務 広 告 料

広い中で募集したいと考えて 関連、歴史文化関連という幅 いる。就職情報サイトも活用 対策関連、鳥獣被害防止対策 空き家対策関連、移住 観光関連、起業支援 検討段階ではあるが、

◎(仮称)県道下郷会津本郷 線整備促進協議会補助金

の構成員は。 県道下郷会津本郷線に 関する期成同盟会が既

> の各行政区長を考えている。 業厚生常任委員会及び沿線 町長、議会議長、副議長、産 を進めていただくために協議 ◎集落集会施設等整備補助 会を設置したい。構成員は、

◎地域おこし協力隊募集 どのような目的でどの

いのか。 どのような結果を出してほし ような人材を募集し、

し、募集していきたい。

すでに期成同盟会はあ

他の地区は、毎年重点

慣例化しないよう、 きる限り当初予算で計

上するようにしたい。

補正予算

設置をする考えである。

入り口までが低い。その改良

委託するのか。



課長

画の見直し作業で、現 平成28年に作成した計

在進めている個別計画の策定

入るためご理解いただきたい。 作業の終了後、委託手続きに

関連、

する構想の内容は。また、そ にあるが、二重に設立し促進

が54%と低く成岡から中山の 74%に対して下郷町の改良率 るが、全体の改良率が

> 金・消防施設整備補助金 刈林区民館と屯所の屋

だったのか。 されているが昨年の重点要望 根塗装の補助が計上

断し、補正予算に計上した。 要望があり緊急性が高いと判 く、今年7月30日付で 昨年の重点要望には

すれば、ルールが無くなり、 提出している。これが慣例化 要望を頭を痛めながら

らえるとなるのではないか。 いつでも要望すればやっても

令和2年

一般会計。 特別会計決算

◆令和2年度歳入歳出決算額

区	分	歳入決算額	歳出決算額	差 引 額
一般	会 計	61 億 3,688 万円	56 億 9,849 万円	4 億 3,839 万円
特別会計	十(5件)	19 億 9,761 万円	18 億 4,058 万円	1 億 5,703 万円
合	計	81 億 3,449 万円	75 億 3,907 万円	5 億 9,542 万円

▼不能欠損処分について

層の努力を期待する。

けられた。一方、住宅使用料やが必要と思われる事案が見受分について、財産の差押え等」の定資産税の不能欠損処

流のまち」を実現するために も立ってき 大い。以上、厳しい財政状況 について たい。以上、厳しい財政状況 について たい。以上、厳しい財政状況 について た財政運営を行っていただき ▼下郷町公 た財政運営を行っていただき ▼下郷町公 が選営を図り、将来を見据え め、引き続き事業の効率化、マネジメン が運営を図り、将来を見据え の中、徴税等の自主財源確保 今年度は の中、徴税等の自主財源確保 今年度は の中、徴税等の自主財源で保 おり、「下郷 の中、徴税等の自主財源で保 も立ってき が、引き続き事業の効率化 マネジメン をとっていただき マネジメン が、引き続き事業の効率化 マネジメン が、引き続き事業の効率化 マネジメン をといい対政状況 について をしていただき マネジメン が、引き続き事業の効率化 マネジメン

国土調査について

ケースが有ることから次の地一部の地域でまとまらない

監査委員の意見(要約)の結果に対する

水道使用料の一般債権についてら、不良債権の整理についてら、不良債権の整理についてら、不良債権の整理についていが多く見受けられることかのが多く見受けられることかのが多く見受ける。

係諸帳簿と合致しており、決

いずれの会計も決算額は関

総総

括

算係数が正確であることを確

▼下郷町公共施設個別計画

> ていただきたい。 児に対処方法を相談し、進め近隣町村の意見を聞きながらからない状態と聞いている。 区に進めずいつになるのかわ

▼育英資金について

早急な対応が必要である。 年間人に支払いを求めるなど また、行方不明者が3人で82 また、行方不明者が3人で82 を開発を表する。 手門が滞納となっている。 を記入に支払いを求めるなど を記入に支払いを求めるなど を記入に支払いを求めるなど を記入に支払いを求める。



こんな質問が ありました

決算認定の 主な質疑し

自主財源比率に ついて

何か。 悪化しているならその要因は ように感じるがどうか。また、 平成3年度から令和2 年度まで悪化している

新型コロナウィルス感 染症関連の臨時交付金

財源が減ったため数字の差が あったが以降年度はなく自主 さと市町村圏基金の返還金が 度との比較として、自主財源 くる。平成30年度と令和2年 増えれば自主財源が下がって 存財源が増えた。依存財源が 幅な増額となっているため依 30年度に関しては会津のふる の固定資産税が減少し、平成 や定額給付金関係の収入が大

▼育英資金について

が前年度と変わっておらず、 ているのか。 者3名の連帯保証人はわかっ をしたのか。また、 この一年間でどのような対応 5人の滞納者で行方不 明が3人となっている 行方不明

なっているのか。

している。 を行っていく。 は連帯保証人にも債権の回収 親族へ連絡し、 依頼をした。これから 保証人は判明 納付の

災害対策備品等

議員 災害対策備品等はどの ようなものを購入した

次の災害対策備品等を

課長

購入した。

購入した災害対策備品等

80 部屋分

17,000 枚

200枚

1200個

2400 枚

8個

10着

120個

200枚

20巻

各種

20本

パーテンション

フェイスガード

マスク

紙石けん

手指消毒液

使い捨て手袋

非接触式電子温度計

使い捨て密閉服

エアマット

マット

長マット

備蓄食料

のか。

*地域おこし協力隊

が来年以降の見通しはどう 議員 名おり1年更新である 地域おこし協力隊は2

めている。 の4月に向け取りまと 企画会議を設置し来年

課長

税システム 入れ替えについて

間違いはなくなるのか。 システム導入により使用者の 議員 昨年、税システム関係 の問題が指摘されたが

> はなぜか。 の目標値は1.

63に対し、令和12年度

解いただきたい。

や財政状況があるため、

ご理

87となるの

準となる平成3年度の 合計特殊出生率が、

基

に努めていく。 課長 新しい業者のサポート の元間違いのないよう

課長

緩くするための目標値

ターン奨励金などもっと踏み

地造成をし提供することやU

議員

若年層がUターンしや すいよう定住のため宅

込んだ内容を入れるべきと考

人口減少率を少しでも

숲 全員 協議会

8月4日の全員協議会で、 「下郷町過疎地域持続的発展計画」

新過疎計画の説明

説明があった。議会からの意見は次 のとおり。

る内容はあるのか。 重点化しようとしてい この計画で直近の内に なっていると考えている。 となっている。高い目標値と

えるがどうか。

てが重点事業に該当する内容 画となっているがすべ この計画は5年間の計

見のあった内容が組み込める か検討したい。 計画に記載してあるが、ご意 課長 結婚新生活支援事業など 若者移住・定住促進事業 空き家の活用促進事 住宅取得の支援事

般質問

9月定例会では、3人の議員が6件の一般質問を9月13日に行い、活発 な議論を展開しました。 7ページより、質問した順に代表する質問の質疑応 答を要約してお知らせします。

小椋 淑孝 (7ページ)

● 町職員について

玉川 邦夫 (8ページ)

- ●介護職員が安心して働ける環境づくりを
- ●豊富な自然エネルギーを再生可能なエネルギーに

輝夫 (9ページ) 星

- ●小沼崎バイパス開通による渋滞対策について
- ●町民体育館の今後の方向性について
- ●湯野上地区の観光施設整備及びその土地の登記について



"一般質問"は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、 町長などに所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることをです。

小椋

hidetaka

質問

職員の途中退職の原因は

答弁

明確には難し

す。 皆様方の努力に敬意を表しま が必要でり、 る斬新なアイデアや創意工夫 問 町政を発展させていく ためには、町職員によ 日頃から職員の

この定数を大きく下回ってい で定められているが、現在は 町には町職員の定数が条例 職員数が少なければ人件

> 職員が途中退職しているが、 費も安く済むが、職員の業務 係はないのか伺う。 業務量に影響が出ている課 とになる。ここ数年、多くの 量が増えて、負担を与えるこ

をこなすには工夫が必要であ 効率化を図っているものがあ ると思うが、町独自の工夫で また、少ない職員数で業務

> 答いただきたい。 原因であるとお考えか、ご回 が辞めているようだが、何が 期8年の間に十数名もの職員 星學町長が就任してからの2 30代、40代と貴重な人材が失 途中退職された職員は20代、 非常に残念であるが、

当初予算編成時から各課に一 は難しいが、職員の業務内容 るため明確に申し上げること も様々あり、個人の尊厳を守 ことだが理由については事情 失われていくことは、残念な 職については、 率化を図った。 方式を導入し、 般財源を配分する予算編成の 業務については、令和3年度 ている。効率化を図っている 互いに協力し、仕事にあたっ 係員一人一人に分担される業 切に配置しており、年度途中 務量は増加してしまうが、お に退職し、職員数が減となり 答 置は業務量等に応じ適 各課等における人員配 貴重な人材が 負担軽減や効 職員の早期退

議員

ogura

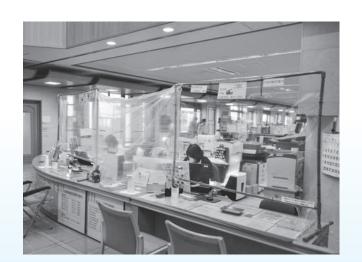
営に努めていきたい。 職場環境作り、健全な行政運 や業務量を注視し、より良

れば伺いたい。

いか。 ク体制に不備が出るのではな 人少なくなって、二重チェッ 問 で休みに入ったので、 税務課職員が一人産休

足りていないのではないか。 が兼務しているのは、職員が にもかかわらず、農林課職員 一人の給料等を組んでいるの 国土調査に当初予算で職員

と、事情も事情ですのでお願 辺は了解していただかない ではないところもあり、その とができず、調査をする段階 えており解決しないと進むこ 域によっていろいろ問題を抱 と4月は一名増でスタートし た。国土調査については、 税務課の体制について 昨年末と比較する



議員

質問

豊富な自然を再生可能なエネルギーに

脱炭素化のまちづくりを

強化していく

玉川 kunio

tamakawa

介護職員が安心して働ける環境を

様々な事業を支援して

答弁

があった。こうした介護職員 く目にする。 募集は、隣接の町村からも多 いう下郷ホームからのチラシ 現状を見ると、介護職希望 回覧板に「介護職員募集」と

町長の考えを問う。 とっても大きな課題である。 の離職も多いという。本町に は減少傾向で、特に若い方々 こうした課題を踏まえての

具等の導入の支援を積極的に 担も大きいようだ。そのため が、 検討できないか。 問 介護ロボットや介護補助 職員が少ないために、負 訪問入浴介護は最も有 り難いサービス事業だ

現段階では開発の途上であ 援補助の情報提供はあるが 県からロボット導入支 体力的負担は大きいよ 8名体制ではあるが、

> の考えを問う。 ギーの推進地域として、町長 でも数少ない再生可能エネル れた番屋川と花の郷の「小水 然財産を沢山もっている。 街道等、本町は素晴らしい自 力発電所」がある。この全国 そうした中に六年前設置さ 地域が一つになった棚田経 豊富な伏流水を利用した さらに国史跡の歴史

り 業者は見合わせている。 費用対効果の面からも事

期待したい。 モーション事業」の後押しを 社会人を巻き込んだ「プロ 様々な職種の方々や学生・ ージアップを図るためにも 問 っては、介護職のイメ 介護職員の募集にあた

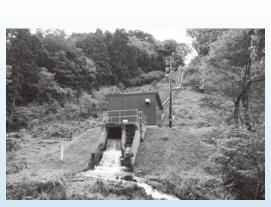
> るのか。 会社との定期的な話合いはあ ているか。また、三峰川電力 問 場所提供をしている地 域への恩恵はどうなっ

る。 の選定について話し合ってい はないが、定期的に設置場所 る。コロナ禍で対面の話合い 川使用料などが支払われてい 答 地元には借地料など、 町には固定資産税・河

職場体験事業の推進、 的取組として人材確保事業や の一部を助成している。広域 大切にしていきたい。 は、介護者への保障の充実も 、の体験学習の提供、さらに うと共に、初任研課程 介護職員養成事業を行 子供達

> 電所〟という再生可能エネル どのように考えているのか。 ギーのさらなる普及について 問 下郷町の自然や地形に マッチした『小水力発

ある。 炭素化のまちづくりを強化し 啓蒙を図っていくと共に、脱 また案内板等の設置をお願 から推進の検討をしていく。 して、再生可能エネルギーの 今後、管理や経費の面 かつて、七か所を候補 として調査した経緯が



50mの落差を誇る音金の 「番屋川小水力発電所」

輝夫

hoshi

議員

質問

小沼崎バイパス開通による 渋滞対策について



引き続き要望していく

う。 れる。 えるが、 にも、 となっていることが度々見ら 型バス等も対向できない状態 内宿へ観光目的で向かう大 型車が同時に対向できず、 を要望する考えがあるかを伺 緩和を図ることが必要だと考 湯野上橋は橋の幅が狭く、 問 新たな橋を設けて渋滞 町民の安全を守るため 国道11号に架かる二川 町長は国や県に事業 国道12号に架かる 大 大

効幅員も狭く、大型車両の対 問題の発生など考察されてき 面交通がスムーズに行われ 年以上経過した橋であり、 や県に要望していく。 を整理しながら、 バイパス開通後の問題点など ている。渋滞等の解消と併せ、 ができないことなどを把握し た。二川橋や湯野上橋は、 答 大型車両同士の擦れ違い 県でもバイパス開通後 の車の流れや、新たな 引き続き国 有 60

問

約に掲げてほしい。 3期目の町長選挙の公

今の質問については控

答

湯野上字居平乙地内で

答弁

質問

確定が行われた。その際に境

境界の

面積を確定するための測

湯野上地区の観光施設及び 登記については公共事業であるため

地権者立ち会いの下、 問 観光施設整備のため、

質問

7

伺う。

町で登記する考えがあるのか 確になったと思うが、今後、 また、土地の境界、面積が明 量等の費用は幾らだったか。

えさせていただく。 町民体育館の今後の方向性につい

答弁

下郷町 に沿って対応していく公共施設個別施設計画

るのか。 現状ではどのように進んでい ていくとの答弁があったが、 ている。検討委員会を立ち上 用がかかる見込みと回答を得 には概算で2から3億円の費 ず、 問 県の専門家と協議を進め 耐震工事を実施する場合 町民体育館は耐震不足 で、緊急時に使用でき

答 現在、 所担当官において、 南会津建設事務 平

星

teruo

になっている。 員会で協議された内容に沿っ 建物の調査に入るが、下郷町 認していただいている。今 成23年度の耐震調査書類を確 た中でご指導をいただくよう 公共施設個別施設計画検討委 書類の確認が終わり次第

今の質問については控 約に掲げてほしい。

えさせていただく。

問 3期目の町長選挙の公

> 町で登記を行うには用地買収 等を含め検討していきたい。 千円を活用し実施している。 して、 が必要。買収や財源、 答 地方創生交付金62万4 平地区測量業務委託と 平成28年度の湯野上居 コスト

め何とか登記できないか。 問 買収が目的ではなく、 境界は決まっているた

きたい。 あるためご理解いただ 公共事業で行うもので



9月30日 南会津地方 自治研究交流セミナー

地域の課題解決に向け 各議員から様々な意見

令和3年9月30日に、福島県町村議会議長会と南会津 地方町村議会議長会の主催で自治研究交流セミナーが開 かれた。南会津郡の各議会から計23名の議員が参加し、 下郷町議会からは6名が参加した。

このセミナーは、地域の抱える特定の課題をテーマに学 識経験者とのディスカッションを行い、地域の課題解決の 方策や、政策提言に繋げることを目的として開かれた。



福島大学教授



今回のセミナーのテーマは、「人口減少が地方に与え る影響と地方議会における対応について」という題で、 福島大学行政政策学類教授 今西 一男 氏に講師を していただいた。

セミナーの前半は、今西氏から人口減少の現状と動 向について講演をいただいた。講演の中では「人口減少

の問題点」、「人口構成の変化(偏り)によって生じる問題」を考えるワーキングが行わ れ、参加した議員からは様々な意見が出された。

後半では、島根県の雲南市で行われている「住民組 織」を特集した動画を上映し、南会津地方や下郷町に も共通する内容であった。残念ながら時間の都合によ りディスカッションを行うことはできなかった。ワーキ ングで出た意見は以下のようなものがあった。



〇人口減少の問題点

・地域経済の縮小

・公共交通機関等が成り立たない

・集落維持ができなくなる ・税収の減少 ・ 労働力の減少

〇人口構成の変化 (偏り) によって生じる問題

・生産性の低下 ・町全体の結束力の低下 ・政治の公平がなくなる

集落維持ができなくなった

次回以降のセミナーの開催は次のとおり予定されている。

10月27日 「地方議会を含む行政のDXについて」(仮題)

福島大学行政政策学類 佐々木 康文 教授

12月 1日 「地方財政の仕組みと自治体経営」(仮題)

福島大学経済経営学類 藤原 遥 准教授



9月定例議会において

下郷町議会基本条例(案)」が可決!

6月定例会で「中間報告」を行い、8月4日の全員協議会において全員から意見を 求めました。そして、本会議に"議会基本条例"を議案提出し可決の運びとなりました。

<9月議会で承認>下郷町議会基本条例(新設)=令和4年4月1日施行=

議会及び議員に係る基本的事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づく町民の 負託に的確に応え、もって町民の生命・財産を守り、福祉の向上及び町勢の発展、町政 の情報公開と町民参加を基本にした、豊かなまちづくりの実現に寄与するものとする。

★基本条例の目的に沿って、以下の流れ

で条例・規則・規定等を検討していく。

下郷町議会議員政治倫理条例(新設)

議員が、町民全体の代表者・町民全体の奉仕者として遵守すべき行動基準 町民からの信頼確保と民主的な町政発展への寄与



下郷町議会会議規則(改正)

議会の議事の手続き、内部規律、議員の懲罰に必要な事項を定めた。

- ○議員の議案提出の仕方
- ○委員会が中間報告する場合の手続き ○発言内容における制限
- ○規律や投票等、様々な表決の仕方 ○請願書の委員会付託 ○懲罰動議の提出・審査・宣告の進め方 等



議会の会期等に関する条例(新設) 通年議会実施要項(新設)

議会が主導的又は機能的に対応するために通年議会を実施する。

- ○会期は4月~翌年3月の1年間 ○3月・6月・9月・12月は今まで同様の定例会議
- ○会期中に行政事務について、文書でも質問できるようにする。

下郷町議会運営に関する基準(改正)

※議会を運営していく上で、最も具体的な内容が示されている。

国が示す「標準基準」や他町村の基準と比較しながら検討していく。

- ○議案等の提出について ○動議の提出について ○諸般の報告について

- ○委員会付託について ○一般質問や討論について ○議会運営委員会について

下郷町議会全員協議会に関する規定(改正)

政策について、もっと積極的に話し合うべきとして、規定の見直しを図る。 ○許可を得て傍聴できる。 ○必要があれば関係者の出席を求める。

議会委員会条例 議員定数条例 議会報酬条例等(改正)

- ◎総務文教常任委員会 ◎産業厚生常任委員会 ◎議会広報常任委員会
- ◎議会改革特別委員会(特に必要があって設置された期間限定の委員会)

〈12月定例会に議案提出の予定〉

委

員

議会だよりぎゃ

議会とまちのうごきを 写真でレポート

どうぞ召し上がってくださり!

「・道の駅しもごう」







(名産物になった下郷のりんご

「大松川お不動様直売所」







朝8時半、地元の方々の心を込めて育てあげた野菜・果物が、次々に運び込まれて来ます。 その新鮮な作物は、慣れた手つきで手際よく、自分たちの力であっという間に各コーナーに納められます。 美味しさだけではなく、安全・安心をお届けする大事なメッセージとして、きれいに包装された 商品一つ一つに生産者名等を明記したシールも貼られます。

会員の皆さん、これからも農作物直売所から、本町のおいしさをどんどん発信して下さい。

議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。 お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

久美子 山名田 委員長 玉 Ш 邦 夫 副委員長 星 能 哲 委 星 志 和

たいものです。 星

能哲

います。 られていることを胆に銘 町民の皆さんの声を議会広 り行政に反映させ、 声を的確に把握し可能な限 き続き真摯に邁進してい れる議会広報づくりに、 報に反映させる努力が求め せていくことが求められて 来の姿勢は、 れています。 に果敢に挑戦する多くのメ ティアに行政のパイプ役と て議会広報も位置付けら 町民皆さんから信頼さ 積する地域社会の課 それには、 行政広報の 町民皆さんの 多くの 実現さ

